

2020年度 慶應義塾大学文学部 日本史

I

- (イ) A 6 B 5 C 3 D 9
(ロ) E 4 F 1 G 5
(ハ) H 1 I 3 J 7 K 9
(ニ) L 2 M 5 N 7

II

- (イ) A 2 B 1 C 3 D 5 E 4 F 3
(ロ) G 1 H 5 I 2 J 3 K 4 L 2
M 1
(ハ) N 2 O 5 P 5 Q 4 R 4 S 3
T 1

III

- (A) 国造 (B) 屯倉 (C) 舍人 (D) 郡司
(E) 国司 (F) 郡家 (G) 正倉 (H) 義倉

IV

問1 (A) 日本往生極楽記 (B) 念仏 (C) 法成寺 (D) 万葉集

問2 枕草子

問3 藤原良房

問4 六波羅蜜寺

問5 源信

問6 八代集

問7 主な政務は太政官で公卿によって審議され、天皇の決裁を経て太政官符・宣旨などで政策が命令・伝達された。外交や財政などの重要な問題については、陣定で公卿各自の意見が求められ、天皇の決裁の参考にされた。(98字)

V

問 1 1931年9月

問 2 柳条湖

問 3 堂島

問 4 管理通貨制度

問 5 桜会

問 6 時局匡救事業

問 7 米価が、植民地米移入の影響で低迷するなか、昭和恐慌により暴落し、1930年には豊作によりさらに下がり、1931年には大凶作に見舞われ、不況のため兼業の機会も少なくなったうえ、都市の失業者が帰農したから。(99字)